

外洋総務委員会 議事概要

2010年11月25日

文責：平井 昭光

日時：平成22年11月25日(木) 18:30～20:30

場所：株式会社トーヨーアサノ3F会議室

出席：鈴木保夫委員長、植松眞 JSAF 副会長、児玉萬平 JSAF 常務理事、浅野英武委員、山本高靖委員、近藤等委員、野田裕二委員、平井昭光委員、事務局寺澤寿一
合計9名

議事概要：

<種子島東京ヨットレースについて>

- ・種子島東京ヨットレースについて、JSAF に共同主催の申請があった。レース委員会では何点か申請上の不備が指摘され、常任委員会では外洋総務で調整する旨の結論になった。JSAF の応援の形をどのようにするか検討した。
- ・JSAF としては、温かく見守ることも必要ではないか。
- ・種々の規定を勘案すると後援というのが、おさまりが良いのではないか。但し、組織体としての必要事項を定めて次回常任委員会までに申請するようにしてもらいたい。

<JSAF 理事・監事選挙について>

- ・平成23・24年度 JSAF 理事・監事選挙の件で、水域選出理事5名の候補者を出すことが必要となる。議論が必要な点は、選挙管理委員会の内規にある現在の水域の分類で良いか、関東については、どのような方法で候補者を選出するか、全国の水域で調整がつかない場合には、選挙管理委員会の管轄事項ではあるものの、植松副会長、児玉常務理事に一任して良いか、の3点
- ・については、現状のままで異論なし。
- ・関東水域は現在外山氏。4加盟団体以外に特別加盟団体に声を掛けるという方法もあるのではないか。推薦期限が12月22日なので、そこまでに決定することとする。理事会において、外洋としての意見を述べることのできる方を探したら良いのではないか。
- ・については、特に異論なし。

<表彰規程について>

- ・昨年度はインビテーションショナルカップ3位の植松氏、トランスパックレース3位の西岡氏が栄光賞を受けられた。
- ・今後の外洋における表彰対象として、功労賞については、例えば、大島レースが60周年を迎えたことを多として葉山フリート・HMYC は如何か？小網代カップが再来年50周年を迎えるし、来年度はアリアンレース20周年の外洋玄海なども将来は対象となるか？

- ・栄光賞については、メイヤーズカップ優勝のチーム・ラッキーレディ（稲葉健太氏）は如何か？
- ・本年度の候補としては、功労賞：大島レース 60 周年、栄光賞：ラッキーレディと考える。

< IRC オーナーズ協会について >

- ・常任委員会に上程したところ、手続き上の問題、規約における活動と申請の活動の関係などで議論となった。
- ・斜森会長及び坂本事務局長にその旨お伝えしたところ、資料が提供された。
- ・3 期分の決算書及び来年度の事業計画書を整えて、かつ活動の範囲を全国の IRC レース振興まで広げた計画を持って、改めて常任委員会に上程する。

< 外洋の会議体について >

- ・今後、次のような会議体で行うこととする。
 - (1) 委員長会議：総務委員会及びレース、計測、安全各委員長が集まり、年に 3 ないし 4 回程度（ 5 月、 1 2 月他）開催する。
 - (2) 外洋会議（理事、外洋総務委員会、専門委員会、加盟団体の会長との合同会議）を評議員会に合わせて年に 2 回（ 1 月及び 6 月）開催する。
- ・具体的に来年度のスケジュールを作成し、鈴木委員長より原案を提示する。

< その他 >

- ・ ISAF/ORC 2010 年 年次総会報告
- ・ JSAF 外洋レース旗の制定を行い、使用を推奨することとする。レース委員会におけるガイド作成などに反映する。
- ・ ジャパンカップの件、進捗報告
- ・ 三崎ヨットの件、進捗報告
- ・ 次回開催は、 1 2 月 2 1 日の予定とする。

以上